

第 4 回 JSPO 国体発第 126 号
令和 4 年 9 月 8 日

長野県 知事
阿 部 守 一 様

公益財団法人日本スポーツ協会
国民体育大会委員会
委員長 大 野 敬 三

国民スポーツ大会（第 82 回大会～第 85 回大会）における
正式競技（隔年実施競技）の実施順について（通知）

平素より国民体育大会をはじめ当協会スポーツ推進事業にご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記大会における正式競技（隔年実施競技）については、去る 6 月 9 日に開催の当協会令和 4 年度第 2 回理事会において、馬術競技となぎなた競技に決定しております。

その後、各大会における隔年実施競技について、貴県での国民スポーツ大会開催に向けた準備状況、当該中央競技団体へのヒアリング等に基づき総合的に判断した結果、下記のとおり実施順を決定しましたのでご通知申し上げます。

つきましては、当該競技会の準備・運営にあたっては、「国民体育大会開催基準要項」および「21 世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」における主旨等を踏まえた取り組みをお願いいたしますとともに、当該中央競技団体と十分連携の上、取り進めていただきますようお願い申し上げます。

記

<実施順>

開催年	回数	開催県	隔年実施競技
令和 10（2028）年	第 82 回	長野県	なぎなた
令和 11（2029）年	第 83 回	群馬県	馬術
令和 12（2030）年	第 84 回	島根県	なぎなた
令和 13（2031）年	第 85 回	奈良県	馬術